EAT
Education for Asian Talents

EAT

1年でグローバル人財に育成する「炎の研修」

EATビジネス予備校

Business

現場のプロが、必ず誰もが持っている潜在的な市場価値を引き出し、一層高められるようにとことん応援します

人財アジア(EAT)は、2015年4月に丸の内においてEATビジネス予備校を開校いたしました。
もともとは気弱な国内派であった代表の岡村は、日米欧企業での痛恨の失敗と粘りの成功に基づく実戦経験から、
「人は1年でグローバル時代に活躍する人財に生まれ変われる」と確信しました。
目標は、それぞれが1年後に「自己実現による市場価値の向上」を達成すること。
各界のプロフェッショナルによる本質を突く研修により、グローバル人財に必須のマインドと能力を開発します。

School

EAT Business School Since 2015

Education for Asian Talents

次世代における個人の市場価値

||

スキル × 経験・実績 × 変革心 × 気合い

いま日本人の多くは、将来につき漠然とした不安を抱えているのではないでしょうか?

私は、とても正しい直観だと思います。

たまに、「贅沢は言わない、今の生活で十分」そんな声も耳にします。しかし、それは当たり前。堅実に蓄積してきた個人金融資産は過去最高の1800数十兆円におよびます。物価は継続的なデフレにより大変低い水準に下落しました。従ってストックベースで考えれば、現状に満足と感じる人がいてもまったく不思議ではありません。ただ、このそこそこの平穏すら続かないであろう将来が危惧されるのです。

あなたがいま足元だけを見て安心するのか?それとも、想像力を働かせて先を考え抜き、自己を変革するのか?

われわれはいま、大きな働き方(生き方)の転換期にいます。

高度成長期は、忍耐強く真面目にコツコツ働けば必ず報われる…そう信じられる時代でした。特に私は、日本企業に20年勤め、育ててもらった恩義を強く感じているので、いまでも「愚直」という言葉をとても好んでいます。

しかし、次世代人財はかような日本的価値観だけでは生きていけない。

日本の人口が減少するなか、世界の人々と協働していかなければ、日本の成長は担保されません。しかも、世界との距離が急速に縮小する中、海外勤務者のみならず、日本で働く日本人も自己変革を迫られるようになりました。だからこそ国を挙げて、企業をあげて「グローバル化」が叫ばれているのだと思います。

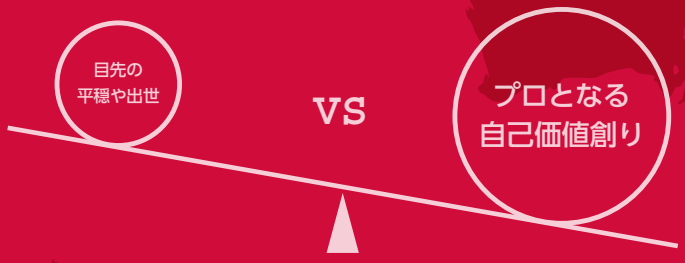
それでは次世代に活躍するグローバル人財の本質は何か?

私は、海外に三度駐在し、また出張で世界中を飛び回ってきました。さらにはグローバル企業でアジア経営会議のメンバーにもなりました。グローバルビジネスの最前線で目の当たりにした「世界で活躍する人財」は、従来の日本人像とはだいぶかい離があることに気づかされました。

リアルな現場体験に基づく私のグローバル人財の定義は、**「異なる価値観を持つ人々と協働し、シナジー(相乗)効果を生むことで、より大きな実績を創出する人財」**です。

外国人に限らない。本来、日本人だって一人ひとりみな個性豊かなはずです。これからはその異なる差異にこそ価値を見出して活用していく意識が必要な時代なのです。異なる価値観に素直に目を向けてそこから新しい発展のヒントを得る。そうすれば、個々人がより自分らしく生きやすくなるのではないでしょうか。まさに真のdiversity! グローバル企業で多くの成功体験を得ることができたからこそ、その意義が腹に落ちました。

目の前の現状に甘んじることをせず、いま思い悩んでいるあなたこそ、より大きな爆発的成長ポテンシャルを有しています。気軽に人財アジアの門をたたいてください。そしてあなたの新しい未来を開いてください。



株式会社 人財アジア　代表取締役

岡村 進　Susumu Okamura

1985年、東大法学部卒業。同年第一生命保険入社、20年間勤務。その間、国内外与信審査部、シティバンク米国本店審査部トレーニー、人事・企画部、外国為替投資課長、米国運用子会社DIAM USA社長兼CEOなどを経験、通算3度米国ニューヨークに勤務。2005年、欧州系運用会社UBSグローバル・アセット・マネジメント入社、08年より代表取締役社長(11年まで運用本部長兼務)。三菱商事UBSリアルティ非常勤取締役、投資信託協会理事を歴任。13年7月1日株式会社人財アジアを設立、代表取締役社長に就任。1994年、米国コロンビア大学経営学修士取得。米国公認会計士、日本証券アナリスト、宅地建物取引主任等。

EATビジネス予備校の燃える5つの特徴

1. 本質への理解を深め、
考え抜く力を養います。

2. 講師や参加者のリアルな成功・
失敗事例から学び、実践力を高めます。

3. 各自が「燃える目標」を
設定できるようサポートします。

4. 豊富なディスカッションやグループワークにより、
受講者間の化学反応を生み出します。

5. 各界のプロの講師や、異業種からなる
受講者同士のネットワークを構築できます。

EATビジネス予備校　開催概要

■対象: 精神年齢**20代後半～40代**の**燃えたい人!**

現状に疑問を感じ、**変革の糸口**を必死に模索している人

■定員: **30名**（受講生の多様化のため**入学面談を実施**）

■場所: **東京都内**

■期間: **一年間 全24回（4月スタート）**

■日時: **原則第2・4 土曜日 13:00-17:00**（4時間）

■受講料: **月42,000円**（税別）3ヶ月前払い ※納得の得られない方は退校を認め、当該四半期振込済み授業料を返還します。

EATビジネス予備校［福岡校］との交流も。

2017年春、福岡市内にEATビジネス予備校［福岡校］を開校しました。アジアへのゲートウェイたる福岡と、首都東京との人財交流・切磋琢磨を通じて、新たなる化学反応を起こし、両者がその果実を享受することを目指します。

人財アジアは責任をとる人財育成会社です

異なる価値観を持った人が協働し、

化学反応を起こす環境を創る。

その提供を通じて皆さんの自己変革を応援したい。

それが人財アジア［Education for Asian Talents］の目指す理念です。

Deepな経験と実績をもとに、

テイラーメイドのプログラムを提供し、

誠実なフォローアップをいたします。

「炎の研修！」プログラム内容

※受講者の成長と特性に応じて、プログラム内容を柔軟に変更していきます。

1 次世代マネジメント① 必須の基本
「燃える目標」の設定がマネジメントの原点。異なる価値観を持つ人々と協働することから生まれる化学反応の意義を理解、体感する。

2 数字で世界をとらえる① 企業の見方 編
真実探求の喜びの発見。定性情報を鵜呑みにせず、定量情報と照合しながら、企業の真の実力に迫る手法と姿勢を体得する。

3 次世代マネジメント② 環境予測と自己変革
前例踏襲の呪縛からの脱却。皆で20年後の世界を予測し、いま変わらなければいけない理由と自己変革の要諦につき腹落ちさせる。

4 数字で世界を捉える② 市場の見方（資産運用）編
世界のマネー・フロー分析の基礎学習。証券投資の基本を学び、次世代をリードする地域や国に思いを馳せることで、それぞれの「世界観」を構築する。

5 メディアとの向き合い方① 世論操作の裏を読む
あふれる情報から真実をつかみとる姿勢やプロセスの確立。メディアの癖を知り、裏を読みとるために必要なものは何かをプロとともに考える

6 数字で世界を捉える③ ～市場の見方（日本株式）編
日本株投資の基礎的手法と銘柄選定の考え方の獲得。相場を通じて日々の出来事に関心を持ち、情報アンテナを高めていく。

7 次世代マネジメント③ 本質を理解してからのハウツー
着眼大局着手小局。「答えは一つではない」との多様化社会での常識を踏まえ、自身の信念と主張を通すために必要な着手小局の手法を学ぶ。

8 エネルギー業界からみる20年後の世界
20年後に覇権を持ち世界標準策定をリードする国や地域はどこか?それはなぜか?エネルギーの視点から具体的に将来像を分析、予測してみる。

9 メディアとの向き合い方② 日本企業失敗の研究
日本の事業会社の栄枯盛衰と原因の研究。歴史から教訓を引き出し、世界で通用する日本の強みにつき具体的事例に基づき考える。

10 グローバルなものの見方① 世界的日本企業の成功体験
リアルな成功体験から戦略構築の要諦の習得。世界的日本企業の人事・経営・マーケティング等の戦略から学び、次世代マネジメントの在り方を考える。

11 次世代マネジメントに不可欠のコミュニケーションの訓練
アサーティブ（真のWIN-WIN）目線と相手を動かすプレゼンの極意の習得。多様化社会に不可欠の伝える技術の訓練を通じて、的を絞りこむ考察力も磨く。

12 ネットワーキング（生の人間関係の構築）
仕事の成果の質を最後に決するのは、人・人・人。
なぜネットワーキングが重要なのか?深い人間関係を通じ自身を磨く術を身に着ける。

13 グローバルなものの見方② 世界エグゼクティブの発想
グローバル企業エグゼクティブとの直接的対話を通じて、次世代マネジメントに不可欠の姿勢、資質・能力・スキルなどにつき考える。

14 分析力で現場を変える
ビッグデータとの向き合い方の確立。「目的あってこそのデータ処理」の意識を社内に周知徹底し、分析から業務変革を生み出す実践的工夫を学ぶ。

15 マネジメントは語る①
経営の責任と緊張の疑似体感。現役経営陣の方々に、会社の経営課題や環境予測、次世代に必要な人財イメージ等につき語ってもらう。

16 グローバルなものの見方③ グローバル人財とは?
グローバル企業の勤務経験を持つ日本人エグゼクティブによる、グローバル人財像の要件定義。ダイバーシティの視点からも国内外のビジネスの現場につきえぐる。

17 ワールド基準の自分づくり
自身の創業と著名事業家への経営助言の経験に基づく働き方の哲学。考え抜き本質をつかむことから、日々の実践の工夫まで奥深い学びを得る。

18 企業内起業家精神
次世代人財の市場価値は、どこで働くかではなく、いかに働くかにより決まる。大企業にいながらにして挑戦を仕掛ける変革心の重要性と実践のつぼを学ぶ。

19 起業家プロジェクト
年末恒例の起業ゲーム。大企業病とは何かを考えたうえで、新たな価値を創造することの喜びを体感する。仕事を楽しむことに変革の源泉があることを知る。

20 マネジメントは語る②
ビジネスの成功者は最終的に何を成し遂げるか?チープな拝金主義ではなく、質の良い人生を実現するためのヒントを考える。

21 数字で世界を捉える④ 企業の見方　上級編
決算書分析を通じた同業比較の事前課題に基づき行うフォローアップ研修。企業分析への深い理解が、すべてのビジネスパースンの仕事力を高める。

22 数字で世界を捉える⑤ 市場の見方　振り返り編
通年課題である日本株投資と世界資産配分ゲームの成績発表と表彰。疑似的投資および監視を通じて世界の出来事への理解を深め、大局観を養う。

23 次世代キャリア&スキル開発の在り方
大企業人事部やグローバルエグゼクティブサーチとの意見交換により、次世代に必要なスキルやそのためのキャリアプランの在り方につき考える。

24 ラップアップ、卒業式
研修での学びを7年後も忘れずにいるためにはどうすればよいか?自己変革のための行動指針、燃え続けるための仕組みつくりを策定、共有化する。

知識・経験とともに生き様からも学ぶ

「本質を突く！」多彩な講師陣

※一部　2021年4月現在

株式会社人財アジア顧問、Bergos Berenberg銀行取締役会会長他、
元サムソン生命 チーフ・アドバイザー、元アクサ・インベストメント・マネージャーズ取締役会会長

Christof Kutscher 氏

深い洞察力と哲学的思考を持つグローバルエグゼクティブ。世界中を飛び回り、各地で危機や難題を解決してこられたのは、異なる価値観への誠実なる尊重あればこそ。

人財アジア シニア・リサーチ・フェロー、
元日本生命米国投資現法社長、元モルガンギャランティ・チーフディラー他

今野 実氏　Minoru Konno

元JPモルガン、元日本生命米国投資現法社長他。市場や部下に対する姿勢は一貫して誠実。人格を兼ね備えた運用のプロの語る市場との向き合い方は非金融人財の人生をも変える。

元トヨタ自動車株式会社
取締役副社長

石坂 芳男氏　Yoshio Ishizaka

トヨタの世界販売戦略構築のために粉骨砕身。現地事情に精通すべく120カ国を行脚しトヨタウエイの基本である現地現物主義を実践。レクサスブランド戦略の瞠目の決断には感動。

ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ株式会社
代表取締役社長

廣本 裕一氏　Yuichi Hiromoto

元三菱商事株式会社常務執行役員。日本にJ-REIT業界を創り、定着させた立役者の一人。企業内にあって起業家精神を忘れず、新規ビジネスを立ち上げるマインドと戦略的思考からは 多くの学びがある。

硬派経済ジャーナリスト
千葉商科大学 基盤教育機構 教授

磯山 友幸氏　Tomoyuki Isoyama

元日本経済新聞社記者。まさに、Warm Heart Cool Head。365日書き続けるのは、日本への熱い思いがあればこそ。深層から真の課題を引き出す力と心に脱帽。

フィデリティ投信株式会社
運用本部インベストメントディレクター

福田 理弘氏　Masahiro Fukuda

かつて日系企業にて2兆円の日本株ファンドを運用した凄腕運用者。幾多の危機を乗り越えた深い経験や知識に人格も併せ持ったプロとして別格の存在。

株式会社グローバリンク
代表取締役

大串 亜由美氏　Ayumi Ohkushi

年間250回以上研修を行うまさにビジネスコミュニケーション教育の女王。「伝える技術の改善＝考える力の強化」を腹落ちさせる。

スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社
元代表取締役社長

三宅 伊智朗氏　Ichiro Miyake

日系大手建設会社、米系銀行での金融法人ヘッド、欧米系生保社長を経て世界的格付機関の代表という多彩なキャリア。さらに羨むべきことにプロギタリスト。人生を楽しむ達人。

経済ジャーナリスト

大西 康之氏　Yasuyuki Ohnishi

元日本経済新聞社編集委員。日本の巨大企業の栄枯盛衰を直視し続けてきた。鋭い眼力と柔軟な発想から繰り出される分析は我々の明日への道を示す。

元第一生命保険(株)常務執行役員
元資産管理サービス信託銀行(株)代表取締役副社長
(株)ウェルネストコミュニケーションズ取締役

宮田 芳文氏　Yoshifumi Miyata

高度成長期の与信審査担当時代から「常識を知り、常識を疑う」がモットー。深いマネジメント経験、燃えるマインド、穏やかな語り口は聞き手を魅了する求心力を有す。

滋賀大学データサイエンス学部教授 博士(工学・経済学)
元大阪ガス株式会社ビジネスアナリシスセンター所長

河本 薫氏　Kaoru Kawamoto

日本のデータサイエンス分野の第一人者。データ分析は使われてこそ意味がある!という強い信念には、とことん現場と向き合ってきた同氏ならばこその説得力がある。

一般財団法人 未来を創る財団 事務局長
株式会社人財アジア顧問

麻植 茂氏　Shigeru Oe

元太陽グラントソントン創業メンバー。数名の税理士事務所を世界レベルに押し上げる傍ら、著名経営者への助言も行ってきた。経営コンサルタントの先駆者。哲学的思考に基づきビジネスの基本姿勢を説く。EAT教育の精神的支柱。

受講者の声

・自分は何を成し遂げてきたのか？　自分は何がしたいのか？　自分に何ができるのか？ と、常に自身を“棚卸し”する感覚を研ぎ澄ませていられた そんな一年でした。(物流 男性)

・多様なバックラウンドを有する仲間との自由闊達な議論から、国籍とはバックグラウンドの一つに過ぎないことを改めて感じました。(非営利 女性)

・EATビジネス予備校で学んだ「数字で考える」「正確な情報を得る努力をする」ことを実践してそれを業務に生かし、社会に貢献できればと思っています。(建設 男性)

・実務経験豊富な講師陣の皆さまや、様々な職種・年代から集まるクラスメイト達から受ける刺激によって、日常業務の限られた世界から外の世界へ視野を広げることができました。(保険 女性)

・私が最も自身にとって意味があったと感じているのは、この予備校が「深く考える」場、きっかけになったことです。(コンサル 男性)

・実際にグローバルに活躍されている個性豊かな現場のプロの方々が講師を務め、理論に経験を踏まえた講義であったため、より現実味を感じて学ぶことができました。(メーカー 男性)

人財アジア［EAT］の活動

執筆・メディア

著書「仕事で「結果を出す人」と「出せない人」の習慣」（明日香出版社）2018年2月26日発行

著書「外資の社長になって初めて知った会社に頼らない仕事力」（明日香出版社）2014年2月16日発行

著書「自己変革―世界と戦うためのキャリアづくり」（KINZAIバリュー叢書）きんざいより2013年5月14日発行

対談「クーリエ ジャポン 仕事以前の大人の基本」（クーリエジャポン）2014年4月25日発行

インタビュー「週刊エコノミスト 10月14日号 問答有用」（毎日新聞社）2014年10月14日発行

JB press連載記事
https://jbpress.ismedia.jp

週刊金融財政事情 春季合併号
2017 5.1-8 掲載記事

Dream Navi June 2018
（四谷大塚教育情報誌）掲載記事

企業向け研修・講演

人財アジアは、金融・サービス・公的機関・メーカー等広範な業界の、新入社員から、若手中堅、課長、部長、そして役員まですべての年次を対象に研修を提供しています。さらに高校、大学においても授業を行っておりますので、「人の成長するプロセスを一気通貫で認識、理解」し、それぞれの成長段階に合わせた効果的な研修プログラムを開発、実践することが可能になっています。

▶事業法人の経営幹部や起業家を対象とする多業種ネットの会にて、グローバル＆資産運用ビジネスにつき講演、本質を突いていると好評（於アークヒルズクラブ）

◀運用初心者の方に向けて「資産運用の原点回帰」セミナーを3回シリーズで開催、実践的内容で活況（於　丸の内カフェ）

人事・経営顧問

代表の岡村は、日本を含むアジア、米国、欧州の三極にて、マネジメントとして人事制度や組織の変革・構築・運営に従事してきました。そのリアルで稀有な実務経験と比較感に基づく助言がご評価をいただき、日本および海外の大手企業に人事・経営顧問サービスを提供しています。

社会貢献

代表の岡村は、一般社団法人「未来を創る財団」の理事をつとめております。「未来を創る財団」とは、新たな日本構築にむけた人としくみづくりを通じて“次世代に明るい未来をおくる”ことを目的に、社会活動事業の交流、社会活性化に向けた諸研究提言他に取り組んでおります。

［URL］http://www.theoutlook-foundation.org/

お申し込み方法

メールでのお申し込み

まずはメールにて下記内容をご記入の上、お申し込み下さい

宛先：**info@eat-star.asia**

件名：	EAT予備校申し込み希望	
本文：	1.ご氏名	2.年齢
	3.ご住所	4.会社名
	5.電話番号	6.メールアドレス

追って詳細な募集内容をご連絡致します

ホームページからお申し込み

「株式会社 人財アジア」のホームページ内にある
問い合わせフォームからもお申込みいただけます

https://eat-star.asia/

人財アジア　Search

Education for Asian Talents

必要なものを、必要とする人に、必要なだけ～

われわれはあまりに不毛な努力に、

時間とお金を浪費しているのではないか

会社概要

社　　名	株式会社人財アジア
設　　立	2013年7月1日
代 表 者	代表取締役社長　岡村 進
特別顧問	馬場 貞仁
顧　　問	麻植 茂・Christof Kutscher
監査法人	太陽グラントソントン税理士法人
取引銀行	三菱UFJ銀行

事業内容	個人向け教育
	法人向け教育
	大学講義
	執筆・講演
	人事・経営コンサルティング
	社外取締役・監査役等の派遣

お問い合せ

EAT
Education for Asian Talents

株式会社人財アジア
〒100-0005東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館20階
E-mail: info@eat-star.asia

☎ 03-6300-6460
総務企画部
https://eat-star.asia